

捕縛すれば直に銃殺又は斬首し、然る後其の顛末を將軍に報告す。之に反して錫伯人は、一般に懶惰、今日あるを知り、明日あるを顧慮せず。囊中少しく錢あれば酒を飲み、鴉片を喫し。錢盡き飢を感じて始めて労働に就く。義を解せず、恥を知らず。往昔愛親覺羅氏に隸屬して明朝を滅し、四百餘州を蹂躪したる勇武の氣象は現今其片影だに求むべからざるなり。

各種族に於て、賞賛すべき一の美點は、同教徒相救ふの義俠慈善の行はるゝことなり。若し他の部落又は遠國より、同一信者の旅行し來るときは、彼等は幾日と無く厚遇し、宿料等は更に之を受くることなし。加之困窮者を見れば衣を分ち囊を拂ふて救助し、更に吝む色なし。故に回教若くは喇嘛信者にして、一朝旅行せんとせば、同信者の部落を經過するに於ては、如何なる長途と雖も厚遇を受け、無錢旅行を爲し得るは、敢て難しとせざるなり。

又各種族とも、祖先を尊び、長者を敬するの風あり。即ち死者の墓は、經費を惜まらず壯麗に建設し、且つ極めて尊重す。如何に無縁の者と雖も、墓前を通行するとき、懇に之に參拜し、若し騎行の時は、必ず下馬して拜しつゝ去るを常とせり。